

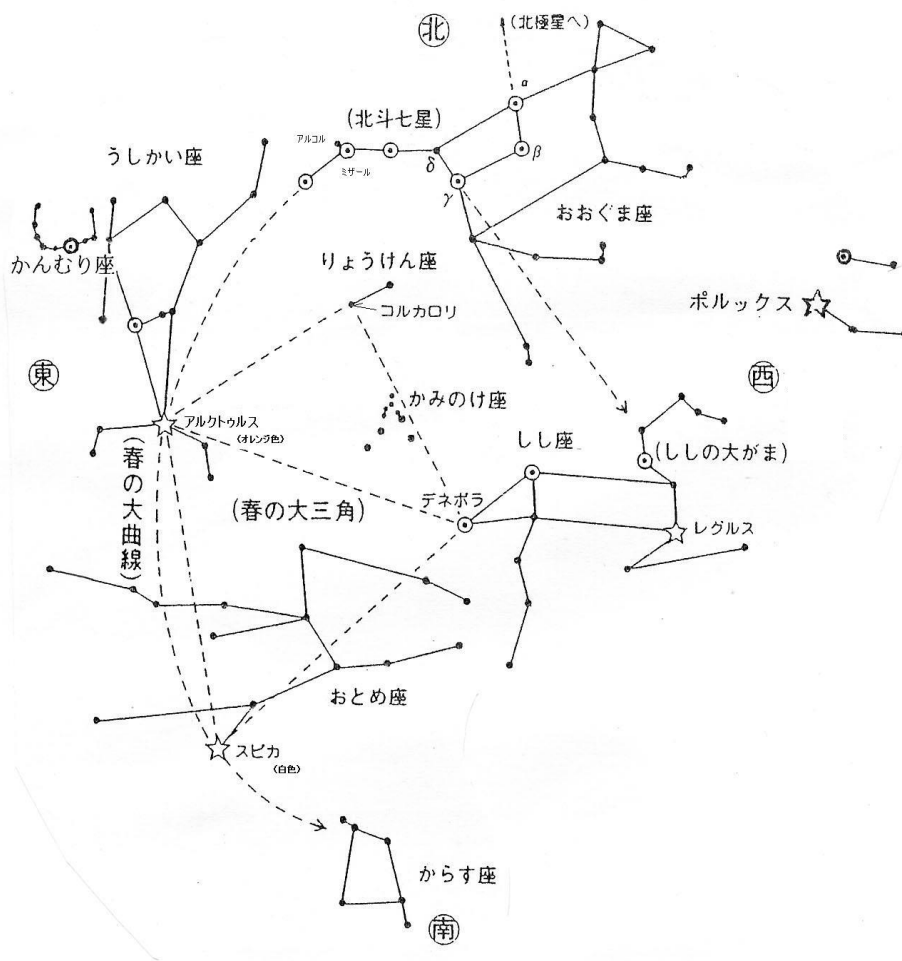
はる せいざ たの 春の星座を楽しもう！

まずは、北の空の大きなひしゃくの形に並んだ星をみつけましょう。これが北斗七星（おおぐま座）です。北極星を見つかるのに大変役立つ星座としても有名ですね。次に、この北斗七星のひしゃくの柄のカーブを南に伸ばしてみると、オレンジ色の明るい星にあたります。これが、うしかい座のアルクトゥルスです。これは「熊の番人」という意味で、日本では麦星と呼ばれています。そのカーブをさらに伸ばしてゆくと、白色の明るい星にあたります。これが、おとめ座のスピカです。スピカはとがったものという意味から女神が持つ「麦の穂」を表し、日本では、真珠星と呼ばれています。この星の並びのカーブが春の大曲線です。

さて、目を凝らしてスピカから春の大曲線のカーブを伸ばしてみましょう。すると小さな四辺形の星の並びが見えてきます。これが、からす座です。日本では、四つ星と呼んだり、この四辺形を小さな船の帆とみて、「帆かけ星」と呼んだりして親しんでいたようです。

また、先ほどのアルクトゥルスとスピカ、そしてしし座のしっぽのデネボラを結びと大きな三角形ができあがります。これを春の大三角といいます。

みなさんも、ぜひ自分の目で春の星座を楽しんでください。



公益財団法人広島市文化財団
 広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター
 〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目73番地の20
 TEL082-238-6301 FAX082-238-6302
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/>